

令和３年度事業報告

概 要

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症の第４波、第５波の到来により５月と８月に福岡県に緊急事態宣言が発令されました。その後、新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の爆発的感染拡大を受け、令和４年１月には、まん延防止等重点措置が適用されました。さらに、２年連続で大蛇山祭りの中止や８月の大雨災害の発生など、大牟田市や当シルバー人材センター事業に大きな影響をもたらしました。しかしながら、このような状況下、新型コロナワクチン接種が始まるなど、新型コロナウイルス対策が講じられてきたことなどから若干ではありますが、昨年度の事業実績を上回り、回復基調となっています。

令和３年度の事業実績は、新型コロナウイルスの発生で就業停止やイベント中止等で大きく事業実績が落ち込んだ令和２年度と比較すると、請負事業の事務整理群が減少した以外、その他の職種については、件数、収入とも増加しました。植木剪定を含む技能群で、約７２０千円増、学校管理や世界遺産、駐車場の管理職群で、約８，５００千円増、除草を含む一般作業群では約４，０００千円増、広報配布などのサービス群でも約５，９６０千円増となっており、事業費ベースで昨年度の１０７．２％となっております。令和２年度より始めた介護予防・日常生活支援総合事業については、契約金額が６３１千円で目標契約金額には及ばなかったものの新しい取組として今後、事業の拡大が見込まれます。派遣事業においても前年度より３，３１９千円増の１４，３７１千円となり、目標の１２，０００千円に対し、約２０％増となりました。事業全体は、２億８９，７６１千円で前年度実績を１９，３８９千円上回りましたが、実施計画目標の３億０７，９８５千円を達成できませんでした。３回目のワクチン接種の拡大など、新型コロナウイルス対策による感染状況を見極めながら請負事業や派遣事業の拡大に取り組んでいきます。

また、最重点課題としていた会員拡大については、６５歳定年制の定着やコロナ禍の中、全国的にも会員数が下げ止まらない状況にあり、当センターにおいてもホームページでの情報発信、全戸配布の無料情報誌やチラシでの募集、会員の声掛け運動や就業内容の周知、ハローワークとの連携、生きがいや楽しみのある同好会の拡大等に取り組みましたが、前年度より３７人減の５４２人で、目標の７２０人に対し７５％となり、目標に達しませんでした。また、就業機会の拡大においても、７０歳定年の取組が進められる中で、コロナウイルス感染防止に伴う就業機会の減少など、課題を残しています。今後は、ハローワークとさらなる連携を図りながら会員拡大に取り組むとともに、入会魅力のあるセンターづくりや、多様な就業機会の確保など、会員拡大、就業拡充の強化を図っていきます。

傷害事故は、チェーンソーによる傷害事故２件を含む９件で前年度より２件増、賠償事故は、刈払い機での石飛事故とテント設置に伴う事故の２件で前年度より１件減となりましたが、事故０を達成するために、さらなる安全対策に向けた取組を強化しなければなり

ません。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月開催を予定していた安全就業促進大会をはじめ、各職群班の全体会議や地域班会議等も感染拡大防止のため、中止や縮小をして行いました。

事業実績

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

1 就業開拓提供等事業

1 事業実績（受託＋独自＋総合事業）

	令和3年度実績	前年度比	計 画
			達成率
会 員 数	542人	37人減	720人
			75%
就業実人員	488人	34人減	536人
			91%
就業延人員	78,231人日	3,470人増	77,900人日
			100%
就 業 率	90.0%	0.2ポイント減	90%
			100%
事業収入	289,761千円	19,389千円増	307,985千円
			94%

（1）受託事業（一般）

高齢者の就業機会を確保し、高齢者の希望や能力に応じて、グループ就業やローテーション就業などを行い、高齢者に臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の提供を行いました。

令和3年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	500人	75,000人日	300,000千円
実 績	458人	75,557人日	282,563千円

（主な就業分野）

- 事務（文書作成、受付事務、賞状・宛名書き等の筆耕等）
- 技能（剪定、大工、襖・障子・網戸張替え、刃物砥ぎ等）
- 管理（小・中学校、地区公民館、駐輪場、イベント会場での駐車場整理等）
- 配布（市広報誌、チラシ・フリーペーパー配布等）
- 屋外・屋内作業（屋外・屋内清掃、除草、植木消毒、家財搬出、農作業等）
- 福祉・家事援助サービス（家事手伝い、育児支援等）

(2) 独自事業

地域のニーズに対応するために、独自の創意と工夫により次の事業を実施しました。

○ リサイクル事業

市民から提供された衣類、家具、家電製品、自転車等の再生・販売、また、学校給食や一般家庭の廃油を原料とした石けんの製造・販売を行いました。

この事業により、ごみの減量化と資源の有効活用など市民の3R活動を推進しました。

○ 宮原坑ショップ事業

世界遺産宮原坑で、来場者へ地元特産品及び会員手作り品等を販売しました。

○ 生きいきシルバー農園事業

耕作放棄地対策として、休耕地を活用した農産物の生産及び有料市民農園事業を行い、農産物は農園直売所、センターのショップ等で販売しました。

令和3年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	30人	2,500人日	7,000千円
実 績	27人	2,386人日	6,567千円

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業

令和2年度より、市の介護予防・日常生活支援総合事業の指定事業所として、掃除、買い物等の生活支援サポートを行う基準緩和型訪問サービスを始めました。

令和3年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	6人	400人日	985千円
実 績	3人	288人日	631千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

地域の高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲における就業を紹介するとともに、地域事業者の求人等の情報収集及び提供を行いました。

2 労働者派遣事業

地域における人手不足と高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において、労働者派遣事業を実施しました。

令和3年度	就業延人員	契約金額
計 画	4,000人日	12,000千円
実 績	4,836人日	14,371千円

（主な就業分野）

高齢者施設等の配膳業務、送迎業務、食品包装業務、商品整理等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

1 普及啓発事業

（1）広報活動

- ① 月2回の入会説明会を開催し、高齢者の生きがい就労や社会参加活動を紹介するとともに、全戸配布の無料情報誌に、センター事業の紹介や会員募集の広告を掲載しました。
- ② 毎月10日の十日市やおおむた道の駅「花ぷらす館」への会員手作り品の出品、年間を通し出張販売する「よかもん商店街」への参加等で、市民へのセンター事業の普及啓発を行いました。
- ③ 10月の普及啓発促進月間に、市及び市議会への支援要請行動を行うとともに、地元新聞社へセンター事業の情報提供やホームページにリアルタイムの求人情報等を掲載し、情報発信を行いました。
- ④ 女性会員の拡大を図るため、県シ連による女性会員拡大に関する会議に当シルバーから委員として参加をしました。大牟田市エコサルクセンター環境教室での年3回の布ぞうり教室、年1回のちりめんリース作りを実施しました。

（2）社会参加・ボランティア活動

毎年参加していた、夏祭りの市民総踊りと夏祭り清掃奉仕活動については、新型コロナウイルスの影響により中止されました。

- ① 市役所剪定奉仕活動 10月 2日（土） 会員及び職員 54人参加
- ② 高齢者生きがい創造センター剪定・除草奉仕活動
10月 9日（土） 会員及び職員 100人参加

2 安全・適正就業推進事業

（1）安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を基本とし、連合会安全就業促進大会への参加、安全・適正就業委員会の開催、安全パトロールの実施等を行いました。

今年度は、安全パトロールを計10回（剪定作業現場14ヶ所、除草作業現場12ヶ所）実施をしました。また、職群別定例会では事故事例についての周知分析を行うとともに、夏場の熱中症予防などの注意喚起を行いました。

今年度の事故発生状況は、傷害事故が9件、賠償事故が2件発生しました。傷害事故では、チェーンソーによる事故のほか、転倒や蜂刺されなど事故が発生しました。賠償事故は、件数は昨年度より1件減少したものの、刈払機による石飛事故等となっています。

事故の原因を分析し、再発防止を図ることが必要です。事故の内容は以下のとおりです。

【傷害事故】 9 件 (前年比 + 2 件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
4/2 7 : 40	男	87	就 業 中 (裂傷) 7 日通院	除草	個人宅の除草現場。敷地内を移動中に窓のアルミ格子の角に頭をぶつけ、出血した。
					(事故原因) K Y ミーティング前でまだヘルメットをかぶっていなかった。頭上の安全確認が不十分だった。
					(再発防止策) K Y ミーティング前でも作業現場に入る前には必ずヘルメットをかぶる。移動の際は足元の確認を行うとともに、頭上の安全確認も意識的に行う。
5/10 14 : 30	男	71	就 業 中 (刺し傷) 1 8 日通院	除草	工場の法面を刈払機で除草していた際、法面に張ってあった古い金網（地崩れ防止用）を刈払機で飛ばし、近くを作業していた会員のふくらはぎに刺さった。
					(事故原因) 地面をえぐるように刈ったため、刃が金網に当たってしまった。
					(再発防止策) 金網が張ってあるような地面は深く刈り込まないように刈払機を操作する。
5/31 16 : 50	男	78	就 業 途 上 (交通事故) 5 日通院	施設管理	自宅から自転車で就業先に向かう途中、自動車と接触し転倒した。
					(事故原因) T 字路で周囲の安全確認が不十分だった。
					(再発防止策) 交通事故は大怪我に繋がるおそれがあるため、運転の際は十分注意する。特に交差点では、周囲をよく確認して通行する。

6/17 13 : 00	女	70	就業途上 (転倒) 3 日通院	除草	就業現場から原動機付自転車で帰宅途中、滑って転倒し、上半身を打撲した。
					(事故原因) 下り坂であり、落ち葉が多い山道だったため、タイヤが滑った。
					(再発防止策) 自転車・バイクでの転倒事故は大怪我に繋がるおそれがあるため、運転の際は十分注意する。路面状態が悪い場合は、手で押すなどして安全に通行する。
6/22 13 : 30	男	70	就業中 (蜂刺され) 2 日通院	剪定	バリカンで柴垣を剪定したところ、スズメバチに手を刺された。
					(事故原因) 現場に蜂がいることに気が付かなかった。
					(再発防止策) KYミーティングで作業現場を確認する際、害虫の有無について確認しておく。作業現場には蜂スプレーを常に持参し、いつでも使えるようにしておく。
8/2 11 : 50	男	71	就業中 (転倒) 9 日通院	除草	除草の寄せ方作業中、滑って転び、左肘を打撲した。
					(事故原因) 作業現場には傾斜があり、前日に雨が降っていたため、滑りやすくなっていた。
					(再発防止策) 足元の安全確認を十分に行う。現場が傾斜地の場合は、スパイク付きの靴などの滑りにくい靴を着用する。

8/14 10 : 00	女	76	就 業 中 (転 倒) 6 6 日 通 院	広 報 配 布	雨天の日に広報誌を手押し車に積み、配布作業をしていた際に滑って転倒した。
					(事 故 原 因) 雨天で地面が滑りやすかった。足元の安全確認が不十分だった。
					(再 発 防 止 策) 足元の安全確認を十分に行う。広報誌などの重量物を運ぶ際はバランスを崩さないように特に注意する。
9/25 9 : 40	男	72	就 業 中 (首 の 縫 合) 1 0 日 通 院	剪 定	電動チェーンソーを使用し、直径 5 c m 程度の植木の切り落とし作業をしていたところ、チェーンソーの刃が服を巻き込み、首元を切った。幸い傷は浅かったが、首元を切っているため、救急搬送された。
					(事 故 原 因) キックバックにより、チェーンソーが跳ね返り、刃が服を巻き込んだ。
					(再 発 防 止 策) 職群班の緊急会議の開催、安全・適正就業委員会の開催、現場検証の実施により事故原因と再発防止を周知する。キックバック対策として①肩より高い位置で使用しない、②しっかり両手で操作する、③切れない刃を使用しない、などを徹底する。
3/29 12 : 00	男	70	就 業 中 (切 り 傷) 5 日 通 院	剪 定	木くずをチェーンソーで細かくする作業をしていた際、刃がぶれて横に移動し、木を支える補助をしていた会員の指に刃がかすり負傷した。
					(事 故 原 因) チェーンソーの刃の中心部分付近で切り始めたため、軽いキックバックを起こし、刃が横にぶれた。
					(再 発 防 止 策) チェーンソーの取扱いには細心の注意を払う。キックバックを起こさないために、刃の先端付近では切らないようにする。令和 4 年度に、チェーンソーを使用する全ての会員に講習会を実施予定。

【賠償事故】 2件 (前年比－1件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
8/11 9:10	男	76	就業者 車両フロントガラス破損	世界遺産ガイド	台風接近に伴い片づけていたテントを再び立てる際に、テントのフレームが近くに駐車されていた車両のフロントガラスに当たり、破損させた。
					(事故原因) テント取扱いの不注意によるもの。
					(再発防止策) テントの設置・片付けの際は取扱いに十分注意する。破損の危険があるものが近くにある場合は、距離を取って組み立て・片付けを行う。
10/23 11:00	男	73	就業者 車両窓ガラス破損	除草	刈払機を使用して工場内の除草作業をしていた際、石を飛ばし、20m先に駐車していた社員車両の窓ガラスを破損させた。
					(事故原因) 作業箇所に併せて社員の車両を移動してもらうなどして石飛事故対策をしていたが、20m離れた車を守るための防護ネットは使用していなかった。
					(再発防止策) 石は20m以上飛ぶこともあることを十分に理解し、危険箇所には必ず防護ネットを張る。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

就業を希望する地域の高齢者に、毎月2回の入会説明会及び毎月1回の会員登録説明会を行うとともに随時の就業相談に対応しました。

4 研修・講習事業

① 安心・安全講習

新型コロナウイルス感染拡大予防のために、3回感染症対策のチラシを全会員へ郵送するとともに、職群定例会においても周知をし、感染症対策ポスター掲示を行いました。

② 健康管理講習

夏場の熱中症対策について、職群定例会での注意・啓発や熱中症対策のチラシ掲示を行いました。

③ 接遇講習

利用者の信頼と満足を得るために、会員へのクレームに対する注意及び接遇の指導を行いました。

④ 剪定講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等についての座学研修を実施しました。(開催7回、研修会員7人)

⑤ 除草講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等について、座学及び実技講習を実施しました。(開催4回、研修会員4人)

⑥ 子育て・福祉・家事援助講習会

全シ協主催の子育て・福祉・家事援助サービス担当者研修会は、1月に予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響により止となりました。

⑦ 職員研修会

○九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会の職員研修会は、新型コロナウイルスの影響により11月18日(木)オンラインで開催されました。

○県連合会の講師による筑後ブロック会計担当職員研修会が、2月に予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

○筑後ブロック業務担当職員研修会は、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

5 調査研究事業

公益社団法人として会員増対策と経営の安定化を進めるために、福岡県シルバー人材センター連合会からの情報収集及び筑後ブロックでの情報交換を行いました。